

教科	地理歴史	科目（単位数）	世界史A（2）	学年	2	類型	文理共通
学習目標	近現代史を中心とする世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	第2章 結びつく世界 2 近世ヨーロッパの形成と発展 （※中間考査は実施せず）	・大航海時代以降、ヨーロッパ主導の世界の一体化がどのようにすすんでいったかを考察する。				取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期中間～ 期末考査	2 近世ヨーロッパの形成と発展	・16～18世紀のヨーロッパにおける主権国家の形成を理解する。 ・17～18世紀のヨーロッパ諸国の海外進出の動向を理解する。				取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
1学期期末～ 2学期 中間考査	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 1 革命の時代の到来	・イギリス産業革命からヨーロッパの1848年革命までの「環大西洋革命」を理解する。				取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
2学期中間～ 期末考査	2 自由主義と国民主義の進展 第4章 アジア諸国の変貌	・環大西洋革命を経てのヨーロッパの国民国家の形成と自由主義の進展を理解する。 ・ヨーロッパ諸国のアジア進出に対して、アジア諸国がどのような対応をとったかを比較・考察する。				取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
2学期期末～ 3学期 学年末考査	第5章 世界戦争と平和	・20世紀初頭の欧米列強による世界分割の特質を理解する。 ・20世紀前半に2つの世界大戦がなぜおきたのかを考察し、その経過と結果を理解する				取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
3学期 学年末考査～ 年度末	第6章 三つの世界の形成 第7章 グローバル化する世界	・冷戦期の展開と特質を理解する。 ・1970年代以降の世界の多極化・グローバル化を理解し、現代との関連を考察する。				取組 ABCD 理解 ABCD 関心 ABCD	
使用教材 （教科書・副教材）	「改訂版 要説世界史A」（山川出版社） 「世界史A読本 改訂版」（山川出版社） 「最新世界史図説 タペストリー」（帝国書院）						
学習方法	①こんにちの世界の現状を知るために、近現代史を重点的に学ぶ。 ②世界史の視点から、過去の出来事と現代との関連性を探求する。 ③教科書の基礎的・基本的事項を確実に覚える。						
評価方法	①学期成績は、中間・期末考査の成績と授業中の取り組みや課題の提出状況等の平常成績をもとに評価する。 ②学年成績は、1～3学期までの学期成績を平均し、その平均の評点によって5段階で評価する。						